



徐擎紅

博士、パートナー、取締役、米国登録弁護士、米国弁理士

使用言語：中国語、英語

実務経験：

特許代理、意匠、及び、商標出願、特許無効審判、訴訟、技術ライセンス、譲渡、企業の知的財産戦略などの知財業務の全般を得意とし、また国家食品薬品监督管理局の薬品の審査・許可過程における法律法規方面のアドバイスをクライアントに提供し、ライフサイエンス関連分野の大部、及び部分の機械、電子などの技術分野における豊富な知財サービス経験を持っている。徐擎紅博士は、2000年から知財業界に従事しており、数多くの国際知名な企業を含むクライアントにサービスを提供した経験があり、欧米の知財法律事務の処理も得意である。現在は、ニューヨーク州及びニュージャージー州裁判所の登録弁護士、米国特許商標庁の登録弁理士である。徐擎紅博士は、2009年隆天に入所した。

徐擎紅博士は、中国、欧州及び米国における特許法、商標法、及び関連実務に関する詳細な研究を行っており、知財の研究分野にて活躍し、主要な国際機構より世界中での基調講演に何度も誘われ、多くの専門的な文章を発表した。また、国家知識産権局代表団の一員として米国での交流に参加した。

職歴：

隆天知識産権代理有限公司，パートナー、取締役、米国登録弁護士、米国弁理士

米国 Goodwin Procter LLP 事務所，米国登録弁護士、米国弁理士

米国 Fish & Richardson P.C. 知的財産事務所，米国登録弁護士、米国弁理士

米国ニュージャージー州プリンストンの企業 Orchid BioSciences，有機合成配列の設計及び実施分野の科学研究業務に従事

教育・研修歴：

ポスドク，ニューヨーク・ロックフェラー大学の C.H. Li Memorial Postdoctoral Fellow

法学博士，ニューヨーク法学院，法律専攻

博士，ミネソタ州立大学，化学専攻
学士，北京大学，有機化学専攻

研究及び講演：

文章「中国営業秘密関連法規と実践」(2021年4月22日), LESI 傘下雑誌「Les Nouvelles」
2021年06月 LVI No. 2 に掲載

文章 「Commercializing Patented Technologies at Chinese Universities」, 2019年,
LESI 雑誌 「les Nouvelles」, 2019年01月刊

講演 「米国 Hatch-Waxman 法案及び特許リンク制度の中国に対する参考意義」, 2018
年03月, 上海, 薬品イノベーション市場と模倣製薬の開発セミナー

文章 「SMEs: Patent Challenges and Policies in China」, 2017年, LESI 雑誌 「les
Nouvelles」, 2017年09月刊 [ISSN 0270-174X]

「アジア国家の特許方面における機会と挑戦」をテーマに会議を主催, 2016年5月, 2016
年 LES 国際大会

講演 「中国特許訴訟実務」, 2014年01月, オランダ, Pharma & Biotech Patent
Litigation フォーラム

「中米特許実務セミナー」で発言, 2013年, 米国, 国家知識産権局の中国代表団のメン
バーとして米国 BenjaminN. Cardozo School of Law へ

社会活動：

国際ライセンス協会 (Licensing Executives Society International: LESI) 特許および
技術ライセンス委員会 (2019～現在) 主席

最高人民法院知的財産案例基地の専門家

AIPPI 中国分会知的財産とグリーンテクノロジー委員会の委員

使用言語：

中国語、英語